

テーマ：食ッキング！JAPAN～給食から見た世界の食料事情～

ファシリテーター（グループ）：食料事情チーム

1：本テーマの趣旨

日本では一日三食の食事をとるのが当たり前にも思われているが、世界には一日一食の食事にさえ困っている人々がたくさんいる。それなのに日本では、食べ物を捨てることにあまり抵抗感がない。そこで、日本人にとって身近な給食を例にして、世界の食料事情を知り、それを通じて食料廃棄や食料自給率など、私たちが抱える食料問題の解決策を一緒に考えていきたい。

2：本テーマの目的

日本と世界の国々の食料事情を比較して、日本の食における問題点を理解してもらい、その解決策を考えることができるようになる。

3：本テーマをとりあげる理由

私たちが生きていくために必要な食べ物に関する問題が存在していることを子どもたちに知ってもらいたい。

また、給食を事例に取り上げることで、身近な問題として考えてもらいたい。

4 : 活動過程 (使用時間 : 90分 参加人数 : 約30~40名)

過 程 (所要時間)	活動内容とそのねらい	ファシリテーターの支援活動(教材, 発問, 説明, 指示)	使用する教材	生徒の予想される反応. その他, 注意事項
アイスブレイキング (10分)	「仲間集めゲーム」 参加者全員で楽しくゲームをして、緊張をほぐす。	「朝食に何を食べてきたか？」などの質問を出し、自分と同じ答えの人を探す。		「私、パン食べてきた！パン食べてきた人」 「僕は、ご飯食べてきた！ご飯食べてきた人」
導入 (15分)	「日本の給食の材料はどこからきている？」 グループワーク (10分) 答え合わせ (5分) 日本の食料自給率の低さに気づいてもらう。	給食の絵を描いたプリントを提示し、その材料を言ってもらおう。その後、材料の絵を描いたプリントの色塗りをグループごとにもってもらおう。	チーム分け用のくじ マジックペン 給食の絵を描いたプリント 材料の絵を描いたプリント	「これは日本産でしょう？」 「いや、輸入だよ。」 「日本は多くの食べ物を外国からの輸入に頼っているんだな。」
展開1 (10分)	「世界の給食クイズ」 ・アメリカ ・フランス ・韓国 ・ケニア など 世界の様々な給食を知ってもらう。	「この給食はどこの国のものでしょう？」 世界の給食の写真を見て、クイズに答えてもらう。(4択)	各国の給食の写真 選択肢を書いたもの 世界地図 マグネット	「ここの給食は、フライドポテトがでているから、アメリカかな？」 「ここの給食は、キムチがでているから、韓国かな？」

<p>展開2 (15分)</p>	<p>「食べ物とリゲーム」</p> <p>網の大きさに差をつけて、日本と他の国の食料事情の違いを体験してもらおう。</p> <p>※対象が中学生以上の場合、解説などを行う。</p>	<p>導入の時のチームになってもらう。</p> <p>大網チーム 使用するもの：大きな網</p> <p>小網チーム 使用するもの：小さな網</p>	<p>網 入れ物 食品サンプル</p>	<p>「全部入っていないけど、まあいいか。」</p> <p>「全然たまらないよ・・・。」</p>
<p>休憩 (10分)</p>				
<p>展開3 (10分)</p>	<p>劇</p> <p>日本はたくさん残しているのに、ほとんど食べることができない国もあることを知ってもらおう。</p>	<p>劇を見てもらう。</p>		<p>「日本はこんなに残しているんだ。」</p> <p>「他の国でももっと食べられるようになればいいのに。」</p>
<p>まとめ (20分)</p>	<p>解決策を考えよう</p> <p>グループワーク (10分)</p> <p>まとめ (10分)</p>	<p>導入、展開2のグループに分かれてもらう。</p> <p>グループごとに解決策を画用紙に書いてもらう。</p>	<p>画用紙 マジックペン マグネット</p>	<p>考えが出てこない場合は、ファシリテーターがサポートする。</p>

5 : 会場のセッティング

黒板(ホワイトボード)

- ・ワークショップを通して机、椅子は使用しないが、道具を置くために2, 3個の机必要

6 : 使用する教材

- ・給食の絵を描いたプリント
- ・材料の絵を描いたプリント
- ・画像のプリントアウト
- ・世界地図
- ・マジックペン

6 : 参考にした資料

日本の食料事情について <http://contest.thinkquest.jp/tqj2001/40584/04/japan.html>

日本の食料自給率について <http://syokuryo.jp/fan/japanese-problem.html>

世界の食料事情について <http://www.wfp.or.jp/activities/sfp.html>

世界の給食について <http://d.hatena.ne.jp/shikaku/20090530/p2>

7 : その他

「どんなことがあっても、食べ物を残してはいけない」と決めつけてしまわないように注意しながら、ワークショップを行います。